

# 山 ゆり

9 - 10 月号 No387 2019 年 9 月 1 日

初号発行:1972 年 12 月 25 日

## 山ゆりの会

年会費 1000 円 (郵便口座 00230-2-42601)

〒246-0025 横浜市瀬谷区阿久和西 2-25-16 草野正昭

Tel/Fax:045-364-6515 メール:VZM03024@nifty.com

URL : <http://yamayuri.d.dooo.jp/>



### ■7 月 12-13 日 尾瀬バスハイク

参加者: 稲本 長谷川 河又 小野寺 浜田  
浜田 加藤 名須川 西村 河野 松田 三  
崎 神保 (13 名)

●会として最後の尾瀬山行になるかもしれないとの思いで一泊二日のバスハイクに 13 名が参加、行きも帰りも予定通りに歩き、二日間とも雨に降られず無事終了しました。

今回はいつもの逆コースで大清水から入り鳩待峠に下山しました。大清水から一之瀬までは一人 700 円の乗合タクシーを利用して、木道が整備された三平峠までの登りも余裕で

持って歩き、下りは滑りやすい濡れた木道を注意しながら尾瀬沼につきました。青空も見えて最高でした。湖岸の木道は新しく広くなり花を見ながら長蔵小屋に着きました。大江湿原はニッコウキスゲが所々に咲き始め、ツツジやアヤメなどが咲いていました。湿原はシカへの食害防止のために山際に金属フェンスが設置されていました。長蔵小屋では元気な平野さんに会うことができました。

二日目は 6 時 45 分に出発して、見晴十字路まで予定通り 3 時間歩きました。尾瀬ヶ原を歩くころには雲も上がり至仏山や燧ヶ岳も見え、竜宮小屋を経由して山の鼻に 12 時過ぎに着きました。三連休の初日で鳩待峠からのハイカーで木道や山の鼻は混雑していました。鳩待峠までは木道が二列に整備され上り下り渋滞することなくスムーズに歩け、鳩待峠まで 1 時間で着きました。

バスは 14 時過ぎには出発しましたが厚木あたりから渋滞が始まり 19 時過ぎに横浜駅西口に到着しました。

梅雨の最中にも拘わらず天候に恵まれ、アクシデントもありましたが全員無事に花の尾瀬を楽しむことが出来、参加者の皆様に感謝します。(河野正典)

7/12: 横浜駅東口 6:30→圏央道、関越道→



10:40 大清水→一之瀬 11:40→三平峠 13:30  
→長蔵小屋 15:00

7/13: 長蔵小屋 6:45→沼尻→見晴 10:00→山  
の鼻 12:45→鳩待峠 13:50→横浜 19:15

●梅雨を忘れての尾瀬ツアー、元旦からの  
(介護)鬱々が燧岳の向こうに飛んでった二日  
間でした。キスゲは咲き始めでしたが、一面  
の緑色にちっちゃな花々が散らばってのんび  
〜り気分。ところが濡れた木道で、これでも  
か!というくらいスッテンコロリン。皆さま  
に多大なご迷惑をかけてしまいました。打撲  
傷とはいえ、使い古した体にはかなりのダメ  
ージ。ダラダラと治療が続きそうな。H女史  
のひとり語り「長靴改造大作戦」で、渋滞も笑  
いとばした帰路。山ゆりでワイワイガヤガヤ  
やっていると、ワタシまだ20代?なんて錯  
覚してしまいます。皆さま、どんどん若返り  
しましょうね。  
(加藤英子)

●12 回目の尾瀬山行 資料を見たら、私  
が最初に尾瀬山行に参加した時の参加者は、  
大型バスを利用して 51 人でした。会を重ね  
る度に参加者は減り、12 回目の参加となっ  
た今回は、友人にも声を掛けて何とか13人  
になりました。

大清水から歩くと1時間の一の関までで、  
シャトルバスが利用出来る様になり、10分  
弱で到着し、長蔵小屋では、初めて風呂を利用  
させてもらった。買ってからまだ一度も使  
ったことが無い雨具の出番は今回も無かった。

12人目の参加者だった友人のM君は、  
沼と原、木道、燧と至仏、水芭蕉、ニッコウ  
キスゲ、ヒメサユリ等、初めての尾瀬を十分  
堪能し大いに喜んでくれた。皆さんにお礼を、  
とのメールが届いています。

山ゆりの会の発祥の地の尾瀬への山行も、  
この数年は毎回「これが最後か?」、との声  
が有ります。今回はリーダーの草野さんが術  
後の為に参加出来なかったの、草野さん抜

きでの最後は有り得ません。一日も早い体調  
回復を願っています。

そうそう!蛇足ですが、どういう訳だっ  
たのか?今回は生ビールを一度も口にすること  
が有りませんでした。(松田雄二)

●10 数年前に参加して、今回、尾瀬沼から  
尾瀬ヶ原までの縦走ですが、ここ1年は月1  
回身近な山を歩いて身体を動かすように、只  
今年の長雨で6月から思うように出来ないで  
いたので、少し不安になりました。やはり一  
人で行くよりも仲間で行く方が疲れなよう  
です。今後ともなかなか休みが取るのが大変  
ですがなるべく参加しますのでよろしく

(神保敏雄)

●尾瀬2日目も天気にも恵まれ雨具なしで出発。  
沼尻〜見晴までの木道脇、ふと足元にピンク  
の半透明の花が目に入り込みました。かがん  
でよくみましたが何の花かわかりません。ス  
マホに撮っておこうと構えた瞬間、後ろで  
「ドスン」と。湿った木道で後ろを歩いてい  
た男性が滑って転んだ音。私その音に驚き手  
元がぶれ、後でその花の写真を見たらピンぼ  
けでした。初めて見た花なので残念!でもそ  
の写真と同じ物がグーグルで検索してわかり  
ました。ピンクのギンリョウソウです。ギン  
リョウソウ=銀白色だと思っていたので、ピ  
ンク色もあるのだとわかりました。見晴〜山  
の鼻までの長い長い木道。その脇の池塘に小  
さなトンボ。透き通った羽、小さく細い水色  
の体、とても綺麗な水色トンボです。写真に  
撮れなかったので記憶に残した残像で検索し  
てみましたが、たぶん?アオスジイトトンボ  
でしょうか?

今回の尾瀬、いつもながら静寂な景色に魅  
了されましたが、ピンクと水色はとても印象  
に残りました。もう一度山ゆり山行で尾瀬へ  
行きたいですね。ゆっくりのんびりとした時  
間で…  
(稲本なお子)

●今回の尾瀬は雨模様覚悟しながら参加、前日からの雨、当日も雨支度で家を出る、マイクロバスには13名、リーダーの見送りを受け横浜を出発。大清水でタクシーに乗り換え、一の瀬で昼食、そのころには雨はすっかり上がり気持ちよく出発。雨が多かったせいか登山道には水が流れていて歩きにくい。三平峠までの道にはギンリョウソウやゴゼンタチバナなどの花の出迎えを受け、尾瀬沼長蔵小屋には予定通り到着。夕飯まで時間があるので大江湿原を散策、ヒオウギアヤメ、ヒメサユリ、ニッコウキスゲ、レンゲツツジ、コバイケイソウ、サラサドウダン、ウラジロヨウラク、シナノカラマツソウなどが見られた。

夕飯もワイン付きで美味しく頂き、入浴はかけ湯二杯まででドボン。

二日目、尾瀬ヶ原に入ると前日とは違った花が咲いており、ミヤマリンドウ、トキソウ、サワラン、モウセンゴケ、ヒツジグサ、ミヤマニガナ、思いがけずミズバショウの花も、ハクサンシャクナゲ、エンレイソウ、ギョウジャニンニク、――まだまだ知らない花がいっぱい、花を楽しんだ後は山の鼻から鳩待峠の登りはとても辛かった。

見たかったニッコウキスゲは満開でなかったけれど、天気の花に恵まれた楽しい尾瀬ハイクでした。  
(河又良子)

●雨が心配でしたが雨具の必要もなく楽しく二日間を過ごすことが出来ました。

一日目、横浜を6時30分に出発し大清水に予定通り到着し、シャトルバスで一の瀬に11時過ぎに着きました。昼食休憩の後登山開始、途中岩清水で美味しい水をいただき三平峠1763mに到着、長蔵小屋には15時過ぎに到着し、大江湿原を散策しました。残念ながらニッコウキスゲはまだ咲きはじめで大半がつぼみ、その代わりアヤメ、カキツバタ、サワギキョウ、ワタスゲ、モウセンゴケ、レンゲツツジ、アザミ、スマレ、など色々な花

を見ることが出来ました。さらにカッコウの鳴き声を久しぶりに聞き感激。夜はビジターセンターで尾瀬のスライドを見ました。

二日目、6時45分出発、尾瀬沼から尾瀬ヶ原に向かう。見晴十字路から尾瀬ヶ原の木道歩き、木道の両側にはいろいろな花がさいている。ミズバショウも残っている。振り向くと燧ヶ岳の姿も見られ、やがて山の鼻に到着、ここで昼食休憩し、鳩待峠への最後の登りを頑張り2時前に鳩待峠に到着しました。今回は一日目が準備運動、二日目が本番という感じで、大変調子よく歩いて良かったと思います。  
(西村文夫)

●雨を覚悟だったが、降られずに済んだ。私も(これから勝手に)、「私、晴れ女」を名乗ろうかな～、な～んで。

今回は尾瀬沼から入って尾瀬ヶ原に抜けたので、花を見比べる機会になった。

シカの食害などで以前より花が少なくなった尾瀬ヶ原だが、尾瀬沼の方は結構多そう。まだ咲いてはいないが、キスゲがぎっしりと蕾を付けていて、これが一斉に開花したら、昔のポスターのような黄色い絨毯になるのだろうか。今が盛りと咲く、ヒオウギアヤメとカキツバタの紫色が目にも染み入るよう。足元はサワラン、トキソウ、ハクサンチドリなどのピンク色の濃淡で、この時期ならではの花、花の競演でした。

メンバーの靴底が剥がれるハプニング！近くでそれを目の当たりにした私は、3日後に出かける登山靴に不安があったので他人事ではなかった。そして予感的中し、山頂で靴底が剥がれた私は、この時に学んだノウハウで乗り越えました。(後日談あり)

長蔵小屋の夜。寝つけない私は、物音ひとつたてずに寝ている皆さんを、「何とお行儀の良いこと」、と感心していました。ところが翌朝、向かいの部屋のメンバーが、「イビキ、歯ぎしり、叫び声とまるで動物園のよう

だった」とか。私も参加していたかも一、ゴメンネ。(これも後日談あり)  
終わってみれば、山はいつだって最高です。  
(小野寺美智子)

●フーフー ハーハー 最後の登りはきつかった！ リーダの河野さん、サブリーダーの松田さん本当にお疲れさまでした。草野さん不在の中での山行でしたので、かなり神経を使ったのではないかとお察しします。

今回の尾瀬行きには自分自身の病気のこともあってそれほど乗り気ではなかったのですが、外さん(世間では奥さんと呼ぶらしい)から、『山のいい空気を吸えば免疫力もあるよ』と背中を押され、「では・・」となったのでした。

山ゆり会の山行にはいつもなにがしかのハプニングがつきもののようで、4年前は

私自身の靴底がはがれて河野さん、松田さんに助けていただきました。今年は・・・でも大きな事故もなく帰ってこられたのはお二人のお陰だと感謝しています。

尾瀬は、自分の中では4年前の素晴らしい眺望のアヤメ平を歩いたのが初めてだったこともあって、その時の山行が強く記憶に残っていたものですから、てっきり尾瀬は今回が2回目と思いこんでいました。しかし帰ってきて過去の写真で確認したら今回は3回目でした。そう言えば2年前草紅葉の尾瀬も経験したっけ？もう認知症の始まりか・・・

フーフー！ ハーハー！ 神保さんの後ろについて、山の鼻から鳩待ち峠までの猛スピードの登りはさすがに少々きつかった。でも行ってよかったです。(浜田隆司)

---

## ■ 9月山行：9月15日 箱根 少雨決行 ★

箱根芦ノ湖の西岸沿いの歩道歩きです。

・集合：朝8時45分 小田原駅 東口箱根登山バス3番乗り場 9:15 発箱根町港行きに乗車

## ■ 10月山行：10月20日 大山街道歩き 少雨決行 (W)

大山古道(街道)歩き、今回はさがみ野から厚木まで約10キロのウォーキングです。

・集合：朝9時 相鉄線さがみ野駅

## ■ 例会の予定 県民活動サポートセンター 9F 夕方5時30分から

・9月17(火)：9月例会      ・10月22日(火)：10月例会

---

あとがき ・尾瀬バスハイク、梅雨の真っ最中でありながら雨に降られず無事終了、お疲れさまでした。・八月は6日広島、9日長崎の原爆の日、広島市長、長崎市長とともに核禁止条約への早期参加を求めたが安倍首相は参加を拒否、核を持つ国と持たざる国との橋渡しの役をはたしていくと、昨年も同じことを言ってこの一年何もしてこなかった。・8月15日戦没者慰霊式s、安倍総理は戦後の日本の繁栄は戦死した英霊のおかげと戦争美化とれる式辞、そしてアジア諸国への加

害責任は一切触れず、新天皇の戦争への反省に触れたお言葉とは好対照であった。

・日韓関係が険悪になっている。1,41965年の日韓基本条約では、個人の賠償請求権は生きている、というのが安倍政権以前の日本政府の立場であった。徴用工も慰安婦も日本の戦争犯罪、これを認めたくない安倍首相の恣意的な言動にごまかされまい。・だからこそ憲法改正なんてとんでもない。

・敗戦日スマホに首垂れる子ら (KM)